

各支部長 新春のご挨拶



旭川支部 支部長
堂 下 和 博

輝かしい新年を迎えられましたことに、心よりお喜び申し上げます。

さて、長く続いていましたコロナ禍ですが、5類移行によりようやく支部の事業活動も平常に戻ってきました。当支部は長年にわたり札幌、小樽支部とともに「三支部合同研修会」を行っています。コロナ禍により延期せざるを得ない状況が続いていましたが、ようやく昨年9月、4年ぶりに旭川で開催することができました。今回は空知支部がオブザーバー参加していただき、旭川市立大学での研修及び地ビールを飲みながらの懇親会を有意義に開催することができました。

旭川支部はご存知のとおり北は稚内から西は留萌、そして南は富良野と非常に広範に及んでいます。これまで研修会の開催も会員の参集に苦慮していますが、会場での参加のほかZoomによる参加の“ハイブリッド方式”を導入し、より参加のし易い開催に努めています。会員数は160名を超える状況で推移しており、最近是比较的若い年代の会員が増加傾向にあるものの、留萌管内では会員数の顕著な減少もあり、二の六該当者を中心に入会を呼び掛けていますがなかなか難しいのが現状です。

旭川支部では、毎年11月に市民を対象とした「市民講座&無料相談会」を開催しています。しばらくコロナ禍で開催を見送っていましたが、ようやく4年ぶりに開催の運びとなり、再開を待ち望んでいた大勢の市民に集まっていただき、盛況な中で実施することができました。

また、8年前から社会貢献事業として市立保育所、児童センターに絵本を贈る「たくまくん文庫」事業に取り組んでいますが、今回も大勢の子供たちが集う会場で、たくまくんも飛び入りで参加する中、楽しい贈呈式が行われました。

新年度においても引き続きこれらの事業を中心に、行政書士の仕事をもっと知っていただく活動に取り組んでいきたいと計画しています。



網走支部 支部長
池 田 真 哲

全道の会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

日頃より当支部の活動に対しまして、多大なるご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

昨年は、WBCの優勝を皮切りにスポーツ界では我が国が大躍進を遂げた一年でありました。特に大谷選手の活躍が目覚ましく、国民に勇気と希望を与え続け、これまでのコロナ時代の閉そく感を見事に吹き飛ばしてくれました。

さて、今年度のこれまでの出来事としてご紹介したいことは、当支部顧問の佐々木英壽先生が昨年秋の叙勲において旭日双光章を受章されたことでもあります。長きに渡って北海道行政書士会の役員を歴任され、その功績を称えられての受章となりましたことは、同じ支部会員として大変誇らしいことでありました。先月初めに勲章伝達のため、日行連から常任会長が北見市までお越しになり、佐々木先生へ勲章の授与がなされました。このような機会はまたとないことということもあり、参列した支部会員は勲章の写真を撮っておりました。佐々木英壽先生、本当におめでとうございます。

また、11月には道東四支部研修会を当支部が幹事となり、遠軽町にて開催いたしました。白滝ジオパークにて昨年国宝に指定されました黒曜石を見学し、実際に黒曜石を鹿の角で割って槍の先につける尖頭器づくりを体験いたしました。参加者は真剣な面持ちで、夢中になって黒曜石を叩き割っておりました。今回は遠方にも関わらず、道東各地から30名の会員にお集まりいただき、大変ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のおかげで事故もなく無事開催することが出来たことをこの場をお借りして感謝いたします。

最後になりますが、全道会員の皆様の今年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお祈りいたします。